

施工管理技士制度の改正について

(第一次検定と第二次検定)

もくじ

| | |
|------------------------|---|
| 1. 建設業法の改正について…………… | 2 |
| 2. 従来の技術検定と今回の改正の関係 …… | 3 |
| (1) 「技士補」の新設 | 3 |
| (2) 「監理技術者補佐」の新設 | 4 |
| (3) 学科試験と「第一次検定」の関係 | 5 |
| (4) 実地試験と「第二次検定」の関係 | 6 |
| 3. 通信教育講座の学習にあたって…………… | 7 |
| (1) 「第一次検定」の受検にあたって | 7 |
| (2) 「第二次検定」の受検にあたって | 7 |

令和3年度より、各施工管理技士の試験制度が大幅に変更されました。

施工管理技士制度の改正について

1. 建設業法の改正について

建設業においては、若い世代の方に将来の担い手になっていただくことが急務となっています。国土交通省では、令和元年6月に建設業法を改正し、技術検定制度の見直しを行いました。

技術検定制度の見直しによって、令和3年度から新制度のもと、「新たな形の技術検定」が行われます。

ここでは、下記8つの施工管理技士受験講座の受講者の方向けに、共通する「新たな形の技術検定」の情報を、簡潔にまとめます。

講座ごとの詳細は、各講座の教材に記されていますので、あわせてご参照ください。

◎ 1級 電気工事施工管理技士受験講座（L10）

◎ 2級 電気工事施工管理技士受験講座（L20）

それぞれ、問題集（地域開発研究所刊）、解説書上巻の冒頭に記載。

◎ 1級 管工事施工管理技士受験合格講座（D27）

◎ 2級 管工事施工管理技士受験合格講座（D28）

それぞれ、要点テキスト、問題集（市ヶ谷出版社刊）の冒頭に記載。

◎ 1級 土木施工管理技士受験合格講座（D47）

◎ 2級 土木施工管理技士受験合格講座（D48）

それぞれ、要点テキスト、問題集（市ヶ谷出版社刊）の冒頭に記載。

◎ 1級 電気通信工事施工管理技士受験合格講座（D57）

◎ 2級 電気通信工事施工管理技士受験合格講座（D58）

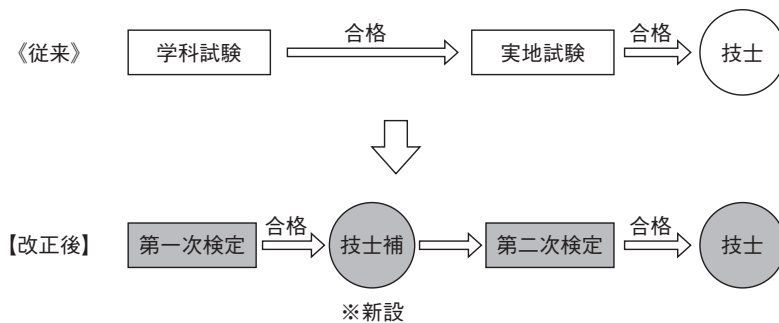
それぞれ、合格テキスト（地域開発研究所刊）の冒頭、受験ガイド・学習ガイドに記載。

2. 従来の技術検定と今回の改正の関係

(1) 「技士補」の新設

従来の技術検定では、学科試験と実地試験の合格者を技士（電気工事施工管理技士、土木施工管理技士など）として称号を付与していました。

今回の改正によって、学科試験は主に「**第一次検定**」、実地試験は主に「**第二次検定**」に再編成されました。そして、第一次検定の合格者に「**技士補**」（新設）、第一次検定及び第二次検定の両方の合格者に「**技士**」の称号を付与することになりました。



●図1 「技士補」の新設

また、従来学科試験に合格して実地試験に不合格になった場合、学科試験が免除されるのは次年度のみでした。

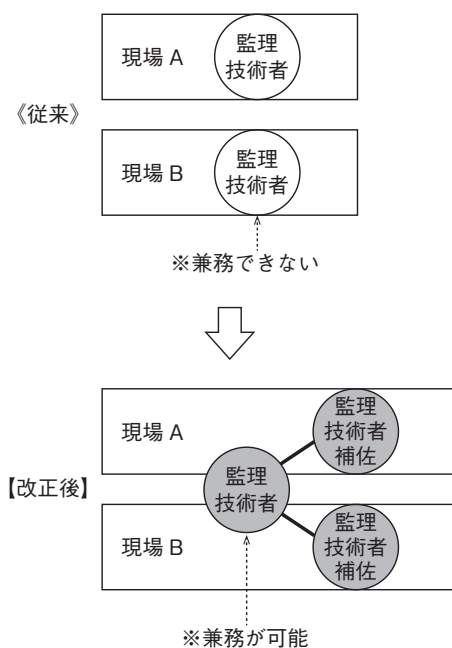
技士補の新設にともない、第一次検定に合格して第二次検定に不合格になった場合、第一次検定が免除されるのは無期限となりました。

(2) 「監理技術者補佐」の新設

1級の第一次検定に合格し、1級技士補となった場合、主任技術者の資格（2級施工管理技士など）を有していれば、「監理技術者補佐」（新設）となることができます。

従来は、請負金額が3500万円（建築一式工事である場合にあっては、7000万円）以上の公共性のある施設等に関する重要な建設工事については、監理技術者を工事現場ごとに専任しなければなりませんでした。

今回の改正によって、工事現場ごとに監理技術者補佐を専任で配置した場合には、監理技術者の兼務（2件まで）ができるようになりました。

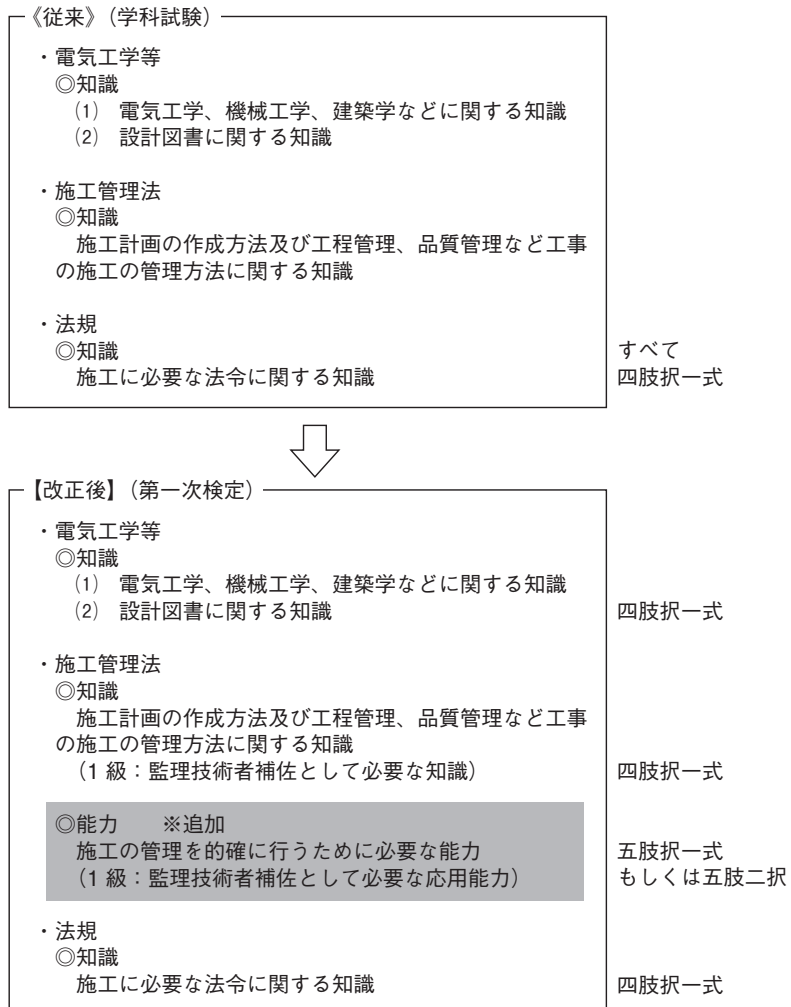


● 図2 監理技術者と監理技術者補佐の関係

(3) 学科試験と「第一次検定」の関係

従来は、学科試験で「知識」、実地試験で「応用能力」を有するかどうかを判定していました。

今回の改正によって、「第一次検定」（おおむね従来の学科試験）の施工管理法において、「施工の管理を的確に行うために必要な能力」が問われるようになりました。

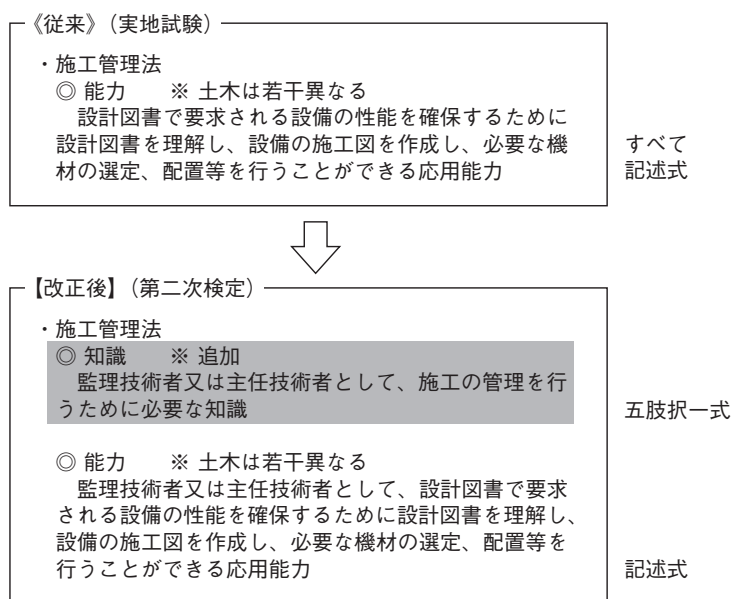


● 図 3 学科試験と「第一次検定」の関係

(4) 実地試験と「第二次検定」の関係

今回の改正によって、「第二次検定」（おおむね従来の実地試験）において、「監理技術者又は主任技術者として、施工の管理等を行うために必要な知識」が問われるようになりました。

なお、第一次検定、第二次検定において、合格に求められる技士の水準は、原則として従来の技術検定に求められる技士の水準と同程度です。



● 図 4 実地試験と「第二次検定」の関係

3. 通信教育講座の学習にあたって

弊センターの各「施工管理技士」通信教育講座は、過去に出題された問題（過去問題）に対応する形でできています。そのため、大部分が学科試験、実地試験による区分で構成されています。

(1) 「第一次検定」の受検にあたって

改正後の「第一次検定」の受検にあたっては、従来の学科試験の内容に加えて、施工管理法における「施工の管理を的確に行うために必要な能力」の部分を加味して学習していただきますよう、お願いいたします*。

電気工学等、法規につきましては、従来の学科試験の内容と変わりはありません。

(2) 「第二次検定」の受検にあたって

改正後の「第二次検定」の受検にあたっては、従来の実地試験の内容に加えて、「施工の管理を行うために必要な知識」の部分を加味して学習していただきますよう、お願いいたします。

制度変更の初年度は過去問題がないため、受検準備の学習を進めるのは難しい部分があります。ただ、初年度の問題は、一般にやさしいめに作られるので、合格率は高くなる傾向があります、特に、新設の「技士補」の資格を取得するには、チャンスといえます。どのような改正なのか、正しく把握することが大切です。

講座の学習によって受検に備えられることで、「施工管理技士」「技士補」の資格を取得されることを願ってやみません**。

* 「土木施工管理」「管工事施工管理」各講座につきましては、要点テキスト、問題集巻末に、第一次検定受験に向けて、施工管理法における「施工の管理を的確に行うために必要な能力」の部分の追加説明、予測問題を掲載します。

** 「電気工事施工管理」講座の受講者の方向けに、次ページに資格取得の概要を掲載します。「土木施工管理」「管工事施工管理」各講座の資格取得の概要は、レポート課題の中に掲載しています。また、「電気通信工事施工管理」講座の資格取得の概要は、受験ガイド・学習ガイドの中に掲載しています。

資格取得の概要（電気工事施工管理技士）

| | | 1級電気工事施工管理技士 | 2級電気工事施工管理技士 |
|----|-----------------|---|---|
| 一 | 更新 | 断りのないものは令和3年度の情報 | 断りのないものは令和3年度の情報 |
| 1 | 区分 | 国家資格 建設業法【国土交通省】 | 国家資格 建設業法【国土交通省】 |
| 2 | 資格の概要 | ●一般建設業および特定建設業に関する電気工事を営む場合の営業所に置く専任技術者、および工事現場に置く監理技術者または主任技術者の有資格者となります。 | ●一般建設業に関する電気工事を営む場合の営業所に置く専任技術者、および工事現場に置く主任技術者の有資格者となります。 |
| 3 | 受験資格 | 学歴または資格に加え一定の実務経験が必要（たとえば大学の指定学科卒業者は3年以上の実務経験が必要） | 学歴または資格に加え一定の実務経験が必要（たとえば大学の指定学科卒業者は1年以上の実務経験が必要） ※ただし、第一次検定のみ受験は17歳以上の者（実務経験不要） |
| 4 | 受験者数 (令和2年度) | 学科：14,407名 実地：8,114名（令和元年） | 学科：8,239名 実地：6,588名 |
| 5 | 合格率 (令和2年度) | 学科：35.0% 実地：66.3%（令和元年） | 学科：58.5% 実地：45.0% |
| 6 | 試験の概要 | ●第一次検定は次の3科目 ①電気工学等、②施工管理法、③法規 ●第二次検定は、施工体験記述、電気工学等、施工管理法、法規よりなる。 ●第一次検定はマークシート方式、第二次検定は主に記述式 | ●第一次検定は次の3科目 ①電気工学等、②施工管理法、③法規 ●第二次検定は、施工体験記述、法規などよりなる。 ●第一次検定はマークシート方式、第二次検定は主に記述式 |
| 7 | 願書提出 | 1月29日(金)～2月12日(金) | 第一次前期：1月29日(金)～2月12日(金) 第一次後期、第一次・第二次： 6月22日(火)～7月20日(火) |
| 8 | 試験実施 | *第一次：6月13日(日) *第二次：10月17日(日) (全国10か所、年に1度) | *第一次前期：6月13日(日) (全国10か所) *第一次後期、第一次・第二次： 11月14日(日) (全国13か所、学校申込対象地を除く) |
| 9 | 合格発表 | *第一次：7月16日(金) *第二次：翌年1月28日(金) | *第一次前期：7月6日(火) *第一次後期、第一次・第二次： 翌年1月21日(金) |
| 10 | 受験料 | *第一次：13,200円 *第二次：13,200円 | 13,200円 (第一次または第二次のみ：各6,600円) |
| 11 | 特記事項 | ●第一次検定の合格者には、国土交通大臣から「1級電気工事施工管理技士補」の称号が与えられます。 ●第一次検定に合格して第二次検定に不合格となった者は、無期限で第一次検定が免除されます。 | ●第一次検定の合格者には、国土交通大臣から「2級電気工事施工管理技士補」の称号が与えられます。 ●第一次検定に合格して第二次検定に不合格となった者は、無期限で第一次検定が免除されます。 |
| 12 | 問合せ先 | (一財)建設業振興基金 試験研修本部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館 tel. 03-5473-1581 URL : https://www.fcip-shiken.jp/ | (一財)建設業振興基金 試験研修本部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館 tel. 03-5473-1581 URL : https://www.fcip-shiken.jp/ |

●JTExでは、資格概要をホームページで公開しています。
URL : <https://www.jtex.ac.jp/>

施工管理技士制度の改正について (第一次検定と第二次検定)

2021年4月1日 発行

編集 **JTEX** 職業訓練
法人 日本技能教育開発センター
〒162-8488
東京都新宿区岩戸町18 日交神楽坂ビル
TEL. 03-3235-8686 (営業・申込受付・発送)
03-3235-8682 (教材内容)
URL. <https://www.jtex.ac.jp/>
印刷 株式会社カネコ
